

第1回唐津市立学校通学区域審議会開議事録(まとめ)

第1回唐津市立学校通学区域審議会開催宣言。

- ・教育長挨拶。唐津市の現状、佐賀県の現状を説明。
- ・会長副会長の選任。互選だが事務局一任に。賛成多数により堤会長と本吉副会長に決定。諮問書受け取り後、諮問書及び会議資料説明。
- ・会長：第1回ということで今回は議論というより質問や意見を各委員にお願いしたい。
- ・委員：前回との違いとして、会議資料に提示してある「新たな課題」とは？
→前回答申を元に解決に動いてきた「複式学級という今までの課題」に対して、「1学年1学級という新たに問題になってきた課題」ということ。
- ・委員：過大規模校も問題になっている。統合ではなく校区変更についての視点はあるのか？
→もちろんある。次回以降協議していただきたい。
委員：校区変更はある意味統合より大変だった経験がある。
- ・委員：今の教育環境は問題であるという認識は保護者及び地区住民も持っている。
- ・委員：統合に向けてのデッドラインについて、2点の視点からどう考えているか教えてほしい。
1.先生の数、2.お金の面について。
→1.小規模校も大規模校も、現状でも既に不足状態。現場で頑張ってもらっている。
2.お金は実情に応じて国から補助金等出るため建前上は不足はないが、厳しい状況。
会長：この通学区域審議会については議論の幅が狭まるため、お金については考えずに議論していただきたい。
委員：お金も大きな指標の一つとなる。その影響で校舎が老朽化したままとなれば保護者や地域住民の判断基準になっていくため。
- ・会長：前回と違って小規模校も大規模校も解決していかなければならない点で難しさがある。まず実際に統合に関係している方に話をお願いしたい。
- ・厳木地区：統合はうまく進んでいる。ただ通学支援と放課後児童学級は心配が残る。
- ・肥前地区：ある程度のことは順調に進んでいる。やはり複式学級は解消したいという保護者が多く、賛成が多いようである。通学支援に関しても4キロ以内も勾配等を検討してもらっているので、順調に進んでいると思う。放課後児童クラブもいろいろ検討してもらっている。
- ・大良地区：統合に至る経緯等、情報が保護者、住民まで降りてきていないのではないかと。
→周知は以下のとおりしている。
 - ① 保護者役員に説明→概ねの了承及びアンケート賛成多数
 - ② 地区の行政連絡員、地区長に説明→概ねの了承
 - ③ 統合準備委員会立ち上げ委員：経緯が見えないため、行政側で勝手に進められているように感じる。複式学級については保護者も心配であり、解消できるのは良いと思う。
委員：浜玉地区については、教育委員会はかなり時間をかけて慎重に進めていると感じた。アンケートについては統合時の在学、未就学児を含め対象にした方がよいという意見があった。
→受け入れる側の未就学児保護者にはアンケートはとっていないが、その他の未就学児保護者にはアンケートを行なわせていただいている。
- ・大良地区：竹木場に統合する方向で進めている。環境を整えるため子ども達のために必ず予定通りに統合してもらいたい。教育の日に学校を見たが、統合を見越して整備していないのかと感じた。予算の限界であるのなら早く進めてもらいたい。地区としては今後の公民館の問題など非常に不安を持っている。今の子ども達が地区のリーダーとして育つまでは地域のコミュニティを存続していただきたいというのが地区自治会関係の思い。
- ・大良地区：学校の設置場所については高峰中学校があるため竹木場がいいという意見が多かった。中心部がよかったが大良は建物が古い。切木は申し訳ないが全体的にみると遠くなる。設置場所、建物について、できれば新しい校舎を建てられないのかという意見があった。
→高峰中ができた時に、ある程度地域の方の認識もあっただろうと思う。行政としても場所は竹木場

だろうという意識はあった。建て替え、新築となると国の補助基準、認可のが厳しく唐津市だけでは手が出せないところがある。条件も非常に厳しく簡単にはできないところがある。

- ・委員：今後統合を進める予定の関係者を含めた具体的な協議をしていったがよいのではないかと。
→本日は現状を知っていただくということで考えている。2回目以降は大きな柱として①統廃合②就学校の指定、大きく2つのことを審議していく予定。②については、学校選択制についてそれぞれ検討していただく予定。
 - ① 自由選択制(完全に自由な学校選択)
 - ② ブロック選択制(市内をいくつかのエリアに分け、各ブロック内で自由な学校選択を許可)
 - ③ 隣接地区選択制(学校周辺の隣接地域からどの学校でも選択可能)
 - ④ 特認校制(特定の満たす学校を特別に指定)
 - ⑤ 特定地域選択制(特定地域に住む子どもたちは市内どの学校でも選択可能)唐津市においては、①は厳しいと考えている。現実的な対策としては、④と⑤ではないかと事務局としては考えている。
- ・鎮西地区：統合はしたものの、付随する部分で成されていないものが結構ある。予算の都合で難しいと言われたら何も言えない。今後該当していく地域の方たちを交えるのも一理あり、最初の取りかかりの内容を重視した方がいいのでは。途中から参加した人は途中からしかわからない。通学支援に関して、スクールバスは緊急時は契約外の人も乗れるような対応ができないのか。通学路は危険箇所の対応などアフターケアが必要だができていない。
- ・呼子地区：通学支援に関しては4キロ以内であっても大変な地域がある。地形等も考慮してもらいたい。
- ・委員：学校がなくなるのは地域にとって大問題だが子どもたちのためには検討が必要な時期。部活等考えると今後は中学校も考えないといけない。地域との関係もあり意見を言いにくいところもある。
- ・相知地区：以前は5校あったが統合して2校となった。今後1校に統合する必要もあると思っている。地域の意見でストップしているが、保護者として子どもたちのために下準備を進めている。また、統廃合は広い地域でも交流を取るということになるという利点もある。統合は決まってから期間が3年後と聞いているが、そのあたりも準備期間として知りたい。
→複式学級がある学校は毎年話している。そろそろだと思ってアンケートを取り、賛成多数ではじめて行政が動ける。しかし、伊岐佐は3年前のアンケートで反対多数だった。状況が変わっているので改めてトライしたい。3年の期間は目安だが、具体的には、「保護者が一番気にされている通学支援をはじめ、学校名や場所、児童クラブ等の協議が1年ほどかかる」、「ある程度決まったら予算要求を行い、翌年執行する」という行程上、大体3年になるという仕組み。最速でも2年。年限を決定して進めると行政の押し付けという意見が出てきて、反対の流れになるため、そうならないよう慎重に進める必要がある。
小学校4キロ、中学校6キロは、文科省の基準。唐津市独自の内規による対応について検討しているところ。
- ・会長：地区で状況が違うため、逆にいろいろな議論ができるのではないかと。
- ・委員：現状は普段見ている。教育委員だった頃特認校を視察し、課題もあったことを思い出した。学校選択制にも関わってくるのでそこについても解決できれば。本日の資料を後日読み込んで次回につなげたい。

日時について。

次回は10月下旬予定。九P大会があるので調整は必要。

- ・時間帯についても検討すべき
- ・資料の事前配布をお願いしたい。